



141

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年1月15日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



池上彰の

聞いて  
いい  
ですか？

## 政治的な発言続ける意図 お笑いタレント・ラサール石井さん

15日(日) = 1、3面

お笑いタレントで俳優のラサール石井さん＝写真＝は、ツイッターやコラムなどで自らの意見を積極的に発信しています。鋭い視点で政府・与党を批判することも多々あります。そんな政治的な発言に対しては、フォロワーから批判や反論、

時には中傷する投稿が殺到し「炎上」することも珍しくはありません。社会では芸能人の政治的な発言をタブー視する傾向が強まっているようですが、ラサールさんはぶれません。

また今は「常に板（舞台）に立っていないと怖く

なってくる気がする」と、一人で笑いを取るスタンダップコメディヤーや、芝居に力を入れています。池上さんとの対談では、政治的な発言を続ける意図や、舞台への思いを語りました。



論  
点

## どうなる安全保障政策

20日(金) = オピニオン面



政府は昨年12月、国家安全保障戦略など3文書を閣議決定し、日本の安全保障政策は大きな転換点を迎えました。政府・自民党は今後、装備品の輸出ルールを定めた「防衛装備移転三原則」の見直しにも踏み込みたい考えですが、連立与党の公

明党は慎重姿勢を示しています。日本はどこまでルールを緩和すべきなのか、副外相や副防衛相などを務めた自民党の若宮健嗣幹事長代理＝写真⑤＝と、学習院大の青井未帆教授＝写真⑥＝に尋ねました。



空き店舗が目立つ新疆国際大バザール＝中国新疆ウイグル自治区ウラムチで2022年12月27日撮影

住民の移動を厳しく制限する「ゼロコロナ」政策から急転換し、新型コロナウイルスとの「共存」にかじを切った中国では、感染の拡大が続いています。国民に大きな負担をもたらしたゼロコロナ政策



## 「白紙運動」のきっかけ ルポ・ウラムチのいま

16日(月) = 1、2面

とはなんだったのか。100日以上の都市封鎖（ロックダウン）を余儀なくされ、ゼロコロナ政策に対する抗議活動の発端ともなった新疆ウイグル自治区ウラムチの現在を記者が伝えます。

特集  
ワイド

## 古舘伊知郎さんが語る「政権と言葉」

17日(火) = 夕刊特集ワイド



「検討します」ばかりで歯切れの悪い岸田文雄首相が、防衛費アップに増税、原発新設と矢継ぎ早に政策を打ち出しています。十分な議論もせず、聞く力は一体どこへいったのでしょうか。

フリーアナウンサーの

古舘伊知郎さん＝写真＝に政権への意見を求めると、「岸田さんは言葉が空疎なところに本質がありますよね」と切れ味の鋭い言葉が返ってきました。「政権と言葉」について、深く聞いています。

竹橋の  
窓辺から

編集後記



1月になると各テレビ局では新ドラマが始まります。最近は見逃し配信やオンデマンド配信があるので、私も毎クール多くのドラマを見ています。

毎日新聞は毎週水曜日の夕刊（東京本社発行版）「フォーカス」で、ドラマの出演俳優のインタビューを掲載し、撮影秘話やドラマへの思いをたっぷり語ってもらっています。ドラマ視聴のお供に、ぜひご覧ください。あなたの「推し」の俳優が大きな写真で登場している可能性大！

(中本慎二)

2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。